



龍門滝



広報

# かじき

## 人口・世帯の動き

(平成7年3月1日現在)

|                  |        |
|------------------|--------|
| 総人口23,549人( 2 )  | 出生 24人 |
| 男 11,024人( 7 )   | 死亡 29人 |
| 女 12,525人(△5)    | 転入 77人 |
| 世帯数 8,614 ( 10 ) | 転出 70人 |

●( )内は前月との比較●

題字 宇都宮町長

## 柁城の風

武家屋敷風の塀に囲まれた  
柁城小学校——まるでお城  
である。町内で最も古く、加  
治木の歴史そのものを収蔵し

た図書館とも言える。  
学校は明治九年、第七郷校  
を柁城小学校に改名、明治十  
九年に菅原小学校、(これに  
はいろいろな説がある)その  
後、昭和四十九年に中野小学  
校を合併した。  
明治九年といえば、西郷さ

んの西南の役の前年で、薩摩  
の先人らが巻き起こした文明  
開花の嵐が吹き荒れたところ。  
西洋の風をまともに受けた薩  
摩男児が、武骨ながらも春を  
呼ぶ爽快な柁城の風となり、  
勇躍して加治木の空を飛び出  
す姿が目に見え。



歴史をしのばせる柁城小学校

平成7年

3

月号

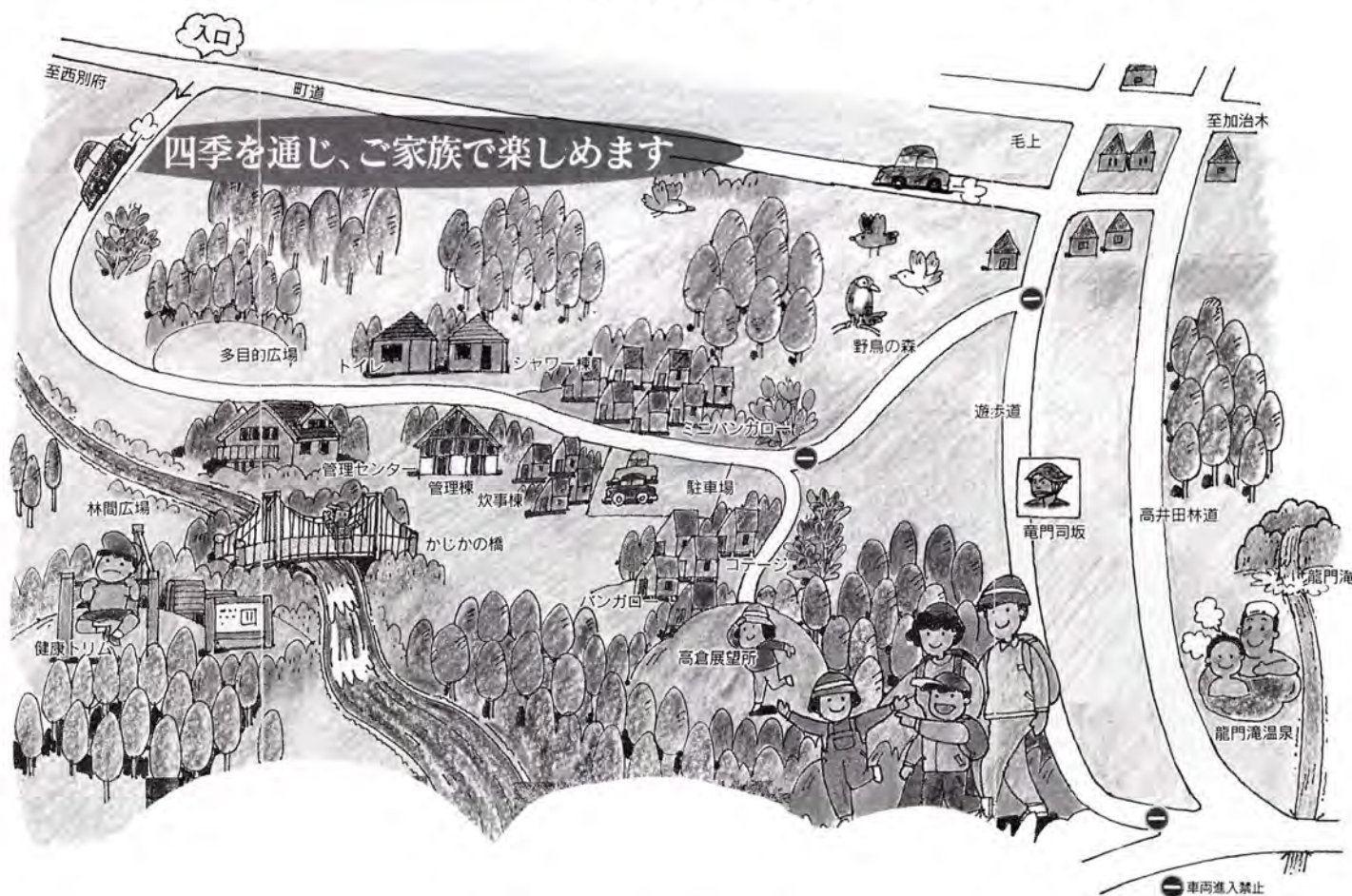
### 今月のページ

さえずりの森オープンノ……2～3ページ ☆統一地方選  
挙……4ページ まちの話題……5～6ページ 保健婦だより  
……7ページ ☆エッセイ・阪神大震災……8ページ ☆掠奪  
十・アンの英会話教室……9ページ ☆おしらせ……10ページ



# さえずりの森 キャンプ場

## 4月オープン!



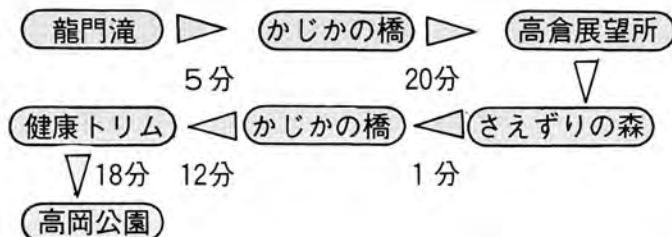
### ■施設概要

- 管理センター 1棟  
受付案内・研修室・レストラン・トイレ
- コテージ施設 2棟
- バンガロー施設 3棟
- ミニバンガロー施設 20棟
- シャワー施設 1棟
- 炊事棟 1棟
- 管理棟・トイレ 各1棟
- 林間広場・多目的広場
- 健康トリム 10種

- アキレスストレッチ ●ボディストレッチ ●ベンディングスタンド
- 垂直ラダー ●ボディカール ●平行バー ●ラダー ●チニングバー
- タイヤラン ●レッグストレッチ



### おすすめ散策コース



### ●お問い合わせ先

さえずりの森管理センター TEL 0995-62-6666  
〒899-52 鹿児島県始良郡加治木町西別府3490  
加治木町役場経済課 TEL 0995-62-2111  
〒899-52 鹿児島県始良郡加治木町本町253



## 使用料のご案内

| 名 称                                                | 区 分                                                   | 使 用 料                                   |
|----------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|-----------------------------------------|
| コテージ施設<br>(カラーテレビ・冷蔵庫)<br>電話・水洗トイレ<br>シャワー・冷暖房完備)  | 基本料金(1棟)                                              | 1泊 3,500円                               |
|                                                    | 1名につき                                                 | 1泊 1,500円(乳幼児は無料)                       |
|                                                    | 使用に最小限必要な炊飯飲用具、毛布(シーツ)、まくら及び炊飯飲用薪並びにシャワー施設及び炊事棟の使用を含む |                                         |
| バンガロー施設<br>(カラーテレビ・冷蔵庫)<br>電話・水洗トイレ<br>シャワー・冷暖房完備) | 基本料金(1棟)                                              | 1泊 2,800円                               |
|                                                    | 1名につき                                                 | 1泊 1,500円(乳幼児は無料)                       |
|                                                    | コテージ施設と同じ                                             |                                         |
| ミニバンガロー施設                                          | 1棟につき                                                 | 1泊 1,500円                               |
|                                                    | シャワー施設、炊事棟の使用を含む                                      |                                         |
| シャワー施設                                             | 1名につき                                                 | 100円                                    |
| 林間広場                                               | 持込みテント(1張)                                            | 1泊 500円                                 |
|                                                    | 炊事棟の使用を含む                                             |                                         |
| 管理センター<br>の研修室                                     | 物品の販売その他の営業行為又はこれらに類する行為をする場合                         | 1時間当たり<br>1,000円                        |
|                                                    | 競技会展示会及び集会又はこれらに類する行為をする場合                            | 入場料又はこれに類するものを徴収するとき<br>1時間当たり<br>600円  |
|                                                    |                                                       | 入場料又はこれに類するものを徴収しないとき<br>1時間当たり<br>500円 |
| 多目的広場<br>又は敷地等                                     | 物品の販売その他の営業行為又はこれらに類する行為をする場合                         | 1㎡当たり<br>1日 200円                        |
|                                                    | 競技会・展示会及び集会又は、これらに類する行為をする場合                          | 1㎡当たり<br>1日 50円                         |

※四季を通じてご利用いただけます。

### ■用具使用料

- 炊飯飲用具 600円(1セット5名分)
- 毛 布 300円(1枚・シーツを含む)
- ま く ら 50円(1個・コテージ又はバンガロー施設での使用に限る)
- 炊飯飲用薪 200円(1束)
- キャンプファイヤー用薪 1,000円(1組)

### 備考

- 1.管理センターの研修室の使用時間が30分以内の場合には、1時間当たりの使用料の2分の1の額を、30分を超え1時間以内の場合は、1時間当たりの使用料を徴収する。時間延長の場合も同様とする。
- 2.多目的広場又は敷地等を使用する場合において、その使用する面積に1㎡未満の端数が生じたときは、その端数は、1㎡として計算する。
- 3.多目的広場又は敷地等を使用する場合の「1日」とは、規則で定める使用時間内の連続する8時間以内とする。ただし、使用時間が4時間以内の場合には、1日当たりの使用料の2分の1の額を、4時間を超え8時間以内の場合は、1日当たりの使用料を徴収する。時間延長の場合も同様とする。
- 4.20名以上の団体(その7割以上を乳幼児、小学校の児童、中学校若しくは高等学校の生徒又はこれらに準ずる者で構成する団体に限る)が、ミニバンガロー施設を使用する場合の使用料は、1棟1泊につき、1,200円とする。

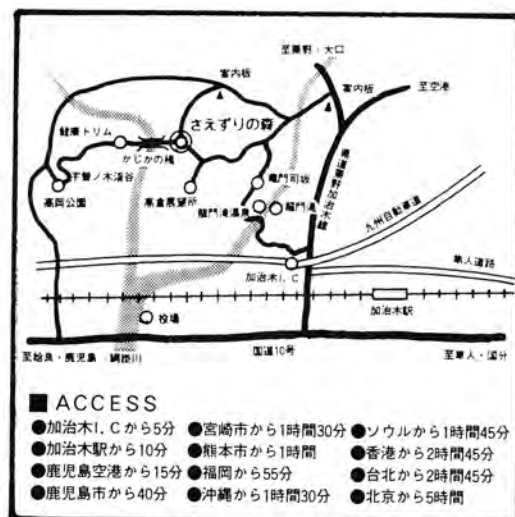


管理センター



ミニバンガロー

焼肉パーティをしたい時は、  
食堂にセット(一式)が  
あるよ!





# きれいな選挙 生かそう一票。

鹿児島県議会議員選挙

投票日は→**4月9日**(日)

加治木町議会議員選挙

投票日は→**4月23日**(日)



加治木町

明るい選挙推進協議会  
選挙管理委員会



錦江小に汽車ポッポ



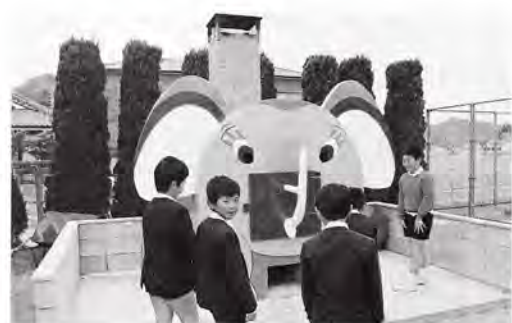
がんばってネ!

この三月、加治木小学校と錦江小学校におとぎの世界にあるような焼却炉が完成し、児童たちに人気を呼んでいます。

これは、既設の焼却炉を改修したのですが、同じ造るなら「児童たちに喜んでもらえるように」と加治木小に「象さん」、錦江小に「汽車ポッポ」を設置したもので、「耐火レンガを使って構造的にも丈夫ですので、安全性は従来のもものよりいいです」と、町担当者の折り紙つき。今後、ほかの小学校のものを改修するときも、このおとぎの世界に様変わりする予定です。

## 焼却炉を小学校に設置

## ゾウさんと汽車ポッポ



加治木小にゾウさん

## がんばってください

### 被災者の子どもにお見舞金

「がんばってください」と阪神大震災の被災者で一月三十日から加治木町に疎開している石田翼さん(加中二年)に二月二十二日、加治木中学校の齋藤校長が町からのお見舞金を手渡しました。

町内の親せきに身を寄せているのは、石田翼さんと星児さん(柵城小三年)の兄弟。翼さんはみんなに心配をかけまいと明るくふるまっているようでしたが、「両親

は神戸に残り、高校一年の姉は指宿です。親せきや学校の仲間はもちろんとても親切ですが、私も弟も早く家に帰りたいです」と、やはり心は親のいる神戸に飛んでいるようでした。

しかし、三月末には両親が加治木を訪れるということで、両親のことを話すときは、さすがに翼さんの目も輝いていました。



国の天然記念物「さつまどり」の始良地区品評会が三月五日、加治木町役場グラウンドで行われました。

出品されたのは白笹、太白、赤笹などのつがい百十羽で、見知らぬ場所にとまどっているのか、会場はコケコッコーの嵐。さつまどりは体格、姿、色つやでその優劣を競いますが、一つがいつ見ても審査員の鋭い目に、飼い主ら

## コケコッコーの嵐 加治木勢がわんばる！ さつまどり品評会

は心配そうに見守っていました。なかには、まぼろしの黒薩摩と呼ばれる真つ黒いものもいて、訪れた人々を楽しませていました。成績は次のとおりです。

(敬称略・町内のみ掲載)  
〔赤笹若鶏〕優勝：戎孝▽二位：戎孝▽三位：楠本夏夫  
〔太白鶏〕三位：脇園正  
〔白笹鶏〕優勝：脇正則▽三位：脇正則

## 泉武磨さんに表彰状

### 町監査委員



おめでとうございます

町監査委員の泉武磨さん(七十一歳)が二月二十二日、自治会館で開催された鹿兒島県町村監査委員協議会の席上、永年功労で表彰されました。

泉さんは、町監査委員として町議時代(六期)に二期八年、その後、識見者として三年余り精励されて現在に至っており、通算十一年以上にわたって地方自治の発展に尽力してこられたものです。

現在、監査委員は町議と識見者の二人で構成されていますが、泉さんは議員を辞められてからは識見者として加わっておられます。



わたしはニワトリの王さま……



垂ノ口公民館



立志のちかいを胸に

## 今年の立志者は七人

▽：立派な公民館も完成…△ 垂ノ口自治会

毎年恒例になっている垂ノ口自治会の立志式が二月十日、このほど完成した真新しい公民館で行われました。

今年の立志者は、中学二年生の七人(十四歳)。立志式で迎え火の集いや誓いの言葉を述べた後、国際感覚を身につけてもらおうと招待した始良教育事務所のアルトロバートさん夫妻(カナダ)らと楽しくおしゃべりして過ごしました。その後、立志者七人は阪神大

震災の復興に役立ててと、岩重会長に義援金を託しました。

◇◇◇◇◇

また昨年からの建設中だった公民館が完成し二月十一日、自治会員総出で落成式を祝いました。

建物面積は一〇五、九八㎡で、敷地が狭いことから総二階建て。工事費は約一、〇八〇万円その内訳は、町補助金一三〇万円のほかに積立金、寄付金、各戸負担金があてられました。

## 待望の公民館が完成

### 竹下自治会

竹下自治会(平野自治会長・九十六戸)では待望の公民館が完成し二月二十六日、来賓をはじめ自治会員約九十人が参加して落成式が行われました。

旧公民館は平成五年の豪雨で崩壊しましたが、実際には公民館建て直し計画は昭和六十二年に持ち上がったもので、今年までの八年間、各戸からの拠出金が積み立てられていました。

建物延べ面積は約八十㎡で、場所は愛宕神社の一角。工事費は約八〇〇万円で、内訳は町補助金一三〇万円と各戸拠出金などです。



竹下公民館



## 加治木クラブ Cクラスで優勝

### 県クラブ対抗テニス大会

平成六年度の県クラブ対抗テニス大会が昨年十二月十一日、十七日、十八日の三日間開催され、知覧テニスの森で行われた一般Cクラスで、加治木クラブがみごと優勝の栄冠を手にしました。

Vサインで勝利の味を……



加治木クラブはCクラスに出場し、県下六十八チームの強豪と対戦。応援団の声援やチームワークの良さで緒戦を三対〇とあっさりものにすると、後は勢いに乗って優勝まで突っ走りました。  
☆メンバー（敬称略）  
平岡康徳▽島崎哲男▽柳木利通▽小川卓也▽伊尻伸博▽丸尾和弘

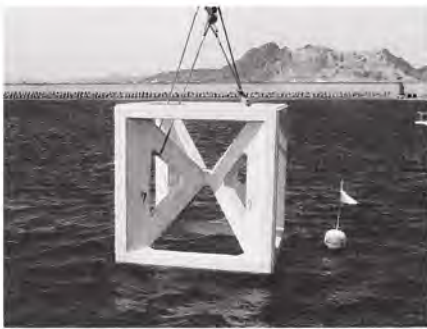
## 錦江湾に龍宮城……

### 錦海漁協

“錦江湾を魚の宝庫にしよう”と錦海漁協では二月十六日、須崎海岸沖に魚礁を投入しました。

この並型魚礁設置事業は県と町の補助金で行われたもので、総事業費は七百九十二万円。たくさんの魚が住めるようにと、組合員らの見守るなか大小三十六個のコンクリートの家が次々と海中に投げられました。

錦江湾せましと踊り泳ぐタイやヒラメにとつては、きつと龍宮城に見えることでしょう。



これでも魚には高級アパート



身障の方が喜びます



特製の藤棚



みんなで手分けして…

## 電話お願い手帳などを寄贈

### NTT 加治木支店

富永NTT加治木支店長が三月三日役場を訪れ、宇都宮町長に身障者のための「電話お願い手帳」など五十部を手渡されました。  
これは、「地域へ貢献しよう」とNTT加治木支店が三月三日の「耳の日」に毎年町に送っているもので、今年で十二年目。電話お願い手帳は、難聴者や目や言葉の

## 中学校を緑でかざろう

### グリーンキャンパス事業

加治木中学校では校庭を緑で飾ろうと二月二十五日、PTAとタイアップしてグリーンキャンパス作戦を展開しました。  
これは、県と町の補助で植樹されたもので、種類はサザンカ百三十本、クス成木十二本、サンゴ樹百十本、ヒラドツツジ五百十本。PTA約百人（主に三年生の保護者）と部活の生徒約六百人らは、業者の手配した場所にそれぞれ楽しそ

## 阪神大震災 復興に

### あなたの

あたたかい真心を！

# 保健婦だより

## 予防接種が

## 変わります

### 四月から保護者が判断

四月から予防接種法と結核予防法が改正され、予防接種が「義務接種」から「勧奨接種」に変わるようになります。

これにより、これまで義務づけられていた予防接種は、保護者の判断にゆだねられることになりました。

そこで町としては、保護者の方がまごつかれないよう、乳幼児や小・中学生のいる家庭には「予防接種と子どもの健康」というパンフレットを配付します。保護者の方はそれを十分理解したうえで、予防接種を受けるようにしてください。

予防接種には、定期予防接種、任意予防接種、臨時予防接種があります。

#### ☆「定期予防接種」

役場が計画して実施するもので、これまで通り個人通知はされますが、保護者が判断します。

百日ぜき、ジフテリア、破傷風（三種混合）、日本脳炎、ポリオ、麻

しん、風しん、BCG

#### ☆「任意予防接種」

本人の希望で受けられますが、役場では計画しません。それぞれの予防接種を行っている医療機関で受けてください。

水痘、おたふくかぜ、インフルエンザ、B型肝炎

#### ☆「臨時予防接種」

病気が流行するおそれのある場合に実施されますが、現在、想定される病気はありません。

子どもは大きくなるまでたくさん病気になるかもしれませんが、なかにはかかると重くなるものもあります。子どもたちを病気から守るためには、免疫をつくってあげることも大事です。それが予防接種です。正しい知識をもって、予防接種を受けるかどうかを保護者の方が判断しましょう。

わからないときは、かかりつけの医師や保健センターにご相談ください。

## 早期発見で命びろい！

### 町内の開業医院で手術

「婦長さん、お客さんです！」  
会議中でしたが、会ってみると、昨年の大腸ガン健診を受けられ、寸でこのところで命びろいされた方でした。

その方は……

私たちは自覚症状を聞いて健診を勧めたわけですが、結果が恐かったのか、採便の容器を受け取ったものの、なかなか採取されず、奥さんの説得でやっと二本のうち一本だけ採取されました。その結果、潜血反応陽性で要精密の通知。がつくりされたのか精密受診もまたしづら

れましたが、電話で再三の説得でようやく応じられ、十月吉日町内の開業専門医で受診。その結果、恐れていたポリープが発見されました。しかし、医師のこんせつでいねいな説明と大病院との連携（町内の病院で鹿大の先生が執刀）で、やや手遅れぎみの病気発見がみごとに手術のおかげでなおり、人工肛門にもならずすみ、今では元氣を取り戻したということです。

「手術が町内の開業医院であつたので、術後の毎月の定期健診も受けやすく、あのときの指導を心から感謝しています。これからも町の健診のありがたきを大切にして、健康づくりにつとめます」  
という、町民のひとりのよるこびの声。保健婦冥利につきる本心にうれしい言葉でした。

みなさん、町内でも安心して精密検査や手術は受けられるのです。現在、ガンが発見されても鹿児島市内の大きな病院では三か月待ちというところもあるということで、今回は町内の開業専門医のありがたさをしみじみと痛感しました。

## 機能訓練で健康づくり

### — 医療費も

### 軽減できます —

保健センターでは、平成二年から毎週一回水曜日、医師の指示に従いながら虚弱老人の機能訓練教室を開いています。

機能訓練は健康体操を基本に、手芸、映画鑑賞、レクリエーション、座談会などを行っており、対象者は、乳ガン・子宮ガン・くも膜下出血などの術後の方、脳梗塞後遺症の方、加齢による足腰の弱い方、高脂血症や糖尿病治療中の方など、さまざまな悩みを持つ高齢者の方々と、シルバーカーを押しながら通われる方もあります。

さて、平成五年度の町老人医療費は一人平均七十七万八千円で、県下でも四位というかんばしくな

い記録ですが、このほど、平成三年から現在までの機能訓練に通所している方の医療費について調べた結果（十四人を対象）、平成三年には一人平均三十三万六千円だったのが、平成五年には一人平均二十四万四千円と九万円あまり少なくなっており、自分で健康づくりをすることが、町の医療費軽減にもつながっています。

住みなれたわが家や地域のふれあいのなかで、自然に親しみながらできる生活。これほど老後に適した暮らしはありません。

機能訓練教室に参加したい方は保健センターまでお問い合わせください。（☎六二二二二二）



## エッセイ

## 阪神大震災のあとさき

作家 福元早夫

阪神大震災を  
体験して

西宮市に在住の作家・福元早夫さんから、阪神大震災に関するエッセイが届きましたので紹介します。

なにを、と奥歯を噛みしめてじつと堪えた。一九九五年一月一七日の、午前五時四十六分のことである。

激震がやむと、内も外も真っ暗い闇である。懐中電灯を手探りするが置いてあるところにはなく見当がつかない。ローソクがあつたのを思い出し、台所のテーブルに数本たてた。恐ろしかった。恐ろしかったと口々に言いながら家族全員が顔をそろえた。

震度七の直下型の大地震に急襲されて、奈落の底へ転落していくような、このうえのない恐怖を覚えた。ドーンという地球が破裂したような衝撃の後に、十一階建ての公団住宅の五階のわが家が、上下に激しく揺れ、すぐさま前後左右にいつそう揺れ動いた。建物全体が猛烈な速度でゆき振られているのである。何が起こったのか見当がつかなかった。

まったく手の打ちようがなかった。その場にしがみつくなかった。必死だった。布団にしがみついたまま、一歩どころか一センチと動けないのである。自分が小さい虫になったようだった。隣室で妻と二人の娘が、悲鳴をあげている。玄関脇の四畳半で、息子が鋭い叫びをあげている。

「ガスの元栓は閉めてあるか!」と私は叫んだ。「ハイ」と妻が叫び返した。二十秒間の激震が長い時間に見えた。その間、もう死んだ、と考え、すぐに、

壁時計がふっ飛び、高い所に置いてあつた家具や本などは、そこらじゅうに飛び散っている。トースターが、重い電子レンジがコードを引きちぎって飛び落ちていた。足の踏み場もなかった。ローソクの炎を見守りながら、暗い夜が明けてくるのを待つしかなかった。その間にも、大きな余震がたびたび襲ってきた。悲鳴をあげながら肝を冷しつづけ、生きた心地がしないのである。

朝がきて電気がきた。テレビを観て大地震が淡路島から阪神間を襲ったことを知っておどろいた。神戸の街が破壊されている。高速道路が転倒して、高層ビルが傾いたりひん曲がったり

倒れたりしている。電車はすべて、神戸への道を断ち切られていた。想像を絶する光景である。外へでてびっくりした。地盤が沈下して、建物と地面とが、五十センチくらいの段差になっているのだ。道路はあちこちで割れ、液状化現象でそこいらじゅうに生コンクリートのような土砂が吹き出して積もっている。

西宮市街から北部の方へ足をはこんでさらにおどろいた。古い二階建ての木造家屋やアパート群は、一階がべしゃんこになっている。ビルやマンションが、傾いたり、倒れたり、曲がったり、途中の階段がつぶれたりしている。死者や負傷者が多数でたことがひと目でわかる。神社や寺は、屋根だけで地面に建っている。地獄絵をながめているようで、胸が苦しい。救急車やパトカーや消防車が、サイレンを鳴らして走りまわっている。

たった一本残された神戸へ行く国道二号線は、車がぎっしり詰まってすこしも走っていない。この先どうなるのだ、と暗い予感がした。立っていると、足元がぐらぐらとするような余震はまだまだ続いている。午後になって神戸を中心に大火災が

生じた。予感が的中したのだ。

水道は破断しているのだ。火は風を呼んで神戸は燃え続けた。

大震災を体験して、人間が生き物であることを強く意識させられた。

水道とガスが停止され、中学校の校庭の給水車に群がる長い人々の列に立って、寒さにふるえながら、水も貴い生き物であることを思い知らされた。飲料水と台所用水を運ぶのが精一杯である。一度使った水は、トイレの水洗用にためておく。頭にくるのは、苦勞して持ち帰った水のほとんどを、トイレがあつたという間に飲み込んでしまうのだ。洗濯はできない。風呂にはいることなど、考えられない。尼崎市へ行ってコインランドリーや風呂屋に長い列をつくるのである。

まるひと月、不自由な生活を強いられながら、新年を祝い、十日戎に詣でて合掌し、鹿児島大学のいる長男が帰ってきて成人式を祝ったついでに、これまでの出来事や、快適だったはずの都会の生活が、空虚なものに見えてきはじめた。

これまでは、人々はあまりにも人間中心主義で、価値観を物質や貨幣におきすぎていたように思う。そのため人生目標を見誤って、自己中心的な行き方をしてきたような気がする。この大震災の死亡者の五割以上が、高齢者だという。負傷者を含めると、さらに増すだろう。都会では高齢者は、古い長屋やアパートで、ひっそりと暮らしている人が多いからだ。とくに地方出身者がそうだ。

いま街は、復興への道を走り始めている。公園や野球場や空地のいたる所に仮設住宅が建設され、被災者の転居がはじまるうとしている。高齢者や障害者が最優先だ。

これからは人と人が知恵を出し合い、そこに独特な人間関係をつくりだし、かつてなかった真に新しい倫理や、共存共生の輪を広げていかなければならぬ、と思う。生活手段や考え方の違う人たちとの深い交流を通じて他者を発見し、そのことで自分自身をも発見して、人間の精神を開放していかなければならないと思うのである。

ある日突然、地球が人間とは何かを激しく揺さぶって問いかけ、その後の大震災が、人間はいかに生きるべきかを、厳しく問いかけたように思えてならないのである。生き方を変えなければならぬのだ。

一九九五年二月一七日



# 八島太郎と 棕鳩十

棕鳩十は、昭和三十一年、アメリカ国務省の招きで、香川県知事、愛媛新聞社長とともに、四月初から七月末まで四ヵ月間、アメリカを視察した。

その折、絵本作家、バージニア・バートン・ヤシマタロウと知り合った。

以来長年にわたり、親交をかさねた。

八島太郎遺品遺作展が鹿児島市文化センターで、三月十五日から三月三十日まで開催された。

(この記事は、一ヵ月早く書くべきであったと悔まれる)

八島太郎は、根占町出身。東京美術学校に学び、戦争批判の作品を制作、投獄。昭和十四年アメリカに渡る。

昭和十六年末、日米開戦後、敵国外人の立場から故国日本を思い「生命の尊さ」を訴えつづけた。

昭和二十年一時帰国、再びアメリカへ渡り、画家、絵本作家として生きる。

平成六年六月三十日、八十五歳で他界した。

ヤシマ・タロウの作品は、世界の人々に、感動を与え、共感を感じさせた。

ヤシマ・タロウは、世界中の

子どもらに、「生きることの尊さ、すばらしさ」を、絵を通して絵本を通して教え続けている。

棕鳩十の作品も、徹底して「生きることの尊さ、すばらしさ」を書き続けた。

長野県出身の棕鳩十は、加治木町に住んで、鹿児島市にあって、彼の作家魂を生命の尊さを書き続けた。

ヤシマ・タロウは、根占町に生まれ、旧県立二中(現甲南高校)に学び、アメリカに渡り、画家、絵本作家として生きた。

平和を愛し、心の底から「生きることの尊さ」を訴え続けた。

ふたりの共通する作家精神をうかがい知ることが出来る。

棕鳩十は、タロウの人と作品について、次のように述懐している。

「彼の作品は、ごうごうと音をたてて燃えていた。会った瞬間に、その烈しい火が、私の方にも、燃えうつてしまったからである。」

それは、太郎の生命の烈しい火の色だ。それは、また、素材にこもる本質的なものの持つ、きびしい火の形だ。

(棕鳩十文学館長 榎蘭高雄)

## アンの英会話教室

皆さん、おやっとさー、先月のテーマと同じ文で、私が良く聞く質問からいくつか選んで自然な会話に直しました。

Have you gotten used to life in Japan?

日本の生活は慣れましたか。

Are you used to life in Japan?

(別の言い方・意味は上と同じ)

How long have you been in Japan?

いつから日本に来られましたか。

How long more will you be staying?

いつまで日本にいますか。

What do you plan to do in the future?

将来、何をしたいですか。

What do you most like about Japan?

日本で一番好きなものは何ですか。

What do you least like about Japan?

日本で一番嫌いなものは何ですか。

じゃあ、これで今月の勉強は終わりにしましょうか。上の文章を大きい声で何度も何度も練習したら、すぐ覚えるようになります。では、皆さんがんばってくださいね。

Slan go foill!!!

### 記事訂正とおわび

2月号の記事中誤りがありました。深くおわびして訂正します。

(敬称略)

13頁「かじつガラス」中

関東大震災大正十三年↓十二年

16頁「香典返し」中

毛上 三好之男(妻シカ子)

毛上 ↓ 徳永



★今月は、加治木文化財ウオッチングはお休みします。

無料  
人権法律相談

鹿児島地方事務局加治木支局のほか、次の人権擁護委員の方々が、自宅でも御相談に応じています。

お気軽に御相談下さい。

秘密は、固く守られます。

郡山政弘 木田一六(三一)

中摩多美子 反土二七五六

篠崎利治 木田四二四二

(☎63-5175)



